

日本共産党 江東区議団ニュース

発行 日本共産党江東区議団
江東区東陽4-11-28 江東区議会内
TEL 3647-3651
FAX 3640-5222
http://www.jcp-kotokugidan.gr.jp

江東区のため込み800億円余

住民福祉の向上に全力を!

江東区議会第三回定例会(9月22日、10月20日)における活動を報告します

そえや良夫議員の本会議代表質問

防災対策の抜本的強化を

そえや議員はまず、本見直しはM9、震度7を区の災害対策の総点検と前提に進めるよう求めま



そえや良夫議員

た。次に、都営住宅1階にある区立保育園の耐震化促進、特に老朽化の激しい辰巳第2、第3保育園の優先実施を求めました。

区は「辰巳第2、第3保育園の工事の前倒しを都に要請する」と答えました。



都営住宅に併設の保育園

「放射線測定継続、独自の食品検査を行う」などの答弁

区内の放射線測定箇所をただすとともに、自然の拡大と継続、年間1m Svを超える場所の速やかな除染、また区内にある都立公園の調査を求めました。さらに、国による食品の検査体制の抜本的強化とともに、本区の独自検査と数値の公表を求めました。区は「独自の食品検査を行う」と答えました。



また原発事故の異質の危険性、原発技術の現状と原発からの速やかな撤退について、区長の認識

「行革」で防災力が大幅後退、特養ホームの不足も深刻

区がため込んだ基金総額は800億円超。一方、人口千人当たりの区職員数は9人から6人に減らされ、防災力も大幅に後退。特養ホームの入所待ちちは約2千人。しかし、区の新たな「行革」案は、こうした問題の解決策はなく、保育料などの値上

平成22年度

決算42億円の黒字

区民のくらしをかえりみない「ため込み」決算

42億円の黒字となった一般会計決算の特徴は、人口増にかかわらず大幅な正規職員削減と民間委託化を押し進め、住民福祉や防災力、雇用・賃金などを後退させながら、一方では基金(積立金)への積み増しが100億円超、基金総額も決算ベ

区民生活の支援拡充を

区議団は、歳入では、自営業者もサラリーマンも区民税が減収となり、仕事不足と賃金低下が反映していること。

共産党区議団が視察した岩手県葛巻町の風力発電

区政短信

本会議質問でわが党議員は、山崎区長が進めてきた公立保育園の民間委託、使用料値上げ、職員削減などをさらに拡大・推進する新たな「行革」に対して正面から批判し、撤回を求めた。▼

特に、東日本大震災で住民の命と暮らしを守り、奮闘している自治体職員の重要性を示した上で、「際限のない職員削減は防災対策上も問題」と指摘。これに対して山崎区長は、「議員のおっしゃる通りにしていたら、夕張市のように」と答弁した。▼夕張市の財政破綻は、国策による炭鉱閉山の処理対策で借金332億円を抱えたこと。過剰な観光開発につけ込んだみずほ銀行などが「貸し込み」で利息26億円をむさびったことが原因。福祉の充実や職員を増やしたからではないとの反論に、区長はダンマリ。▼「夕張市のようになる」との答弁は、首長としての見識が問われるものです。